

第313回 所長会議議事要旨

日 時 令和4年7月1日（金） 9：30～9：45

場 所 管理棟大会議室及びウェブ会議（Zoom）

出席者（構成員） 山内機構長、足立理事、内丸理事、岡田理事、幅理事、高橋理事、
齊藤素粒子原子核研究所長、小杉物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、
波戸共通基盤研究施設長、小林J-PARCセンター長（東海キャンパス所長）
（オブザーバー） 住吉監事、辻監事
（管理局等） 五味田総務部長、阿部財務部長、永木研究協力部長、外山施設部長、幸田参事役、
柴沼参事役、坪監査室長、横山主計課長、長谷川経理課長、土田契約課長、
岡田研究協力課長、丹生国際企画課長、佐藤施設企画課長、若林整備管理課長、
日下田福利厚生室長、根本決算室長、岩見外部資金室長、島根共同利用支援室長、
山口国際プロジェクト推進室長、鈴木資産マネジメント室長ほか

配付資料

1. 令和5年度運営費交付金等概算要求事項等（案）

議 事

【1】 協議

- (1) 令和5年度概算要求について

阿部財務部長から、資料1に基づき説明があり、協議の結果、資料のとおり了承された。協議のなかで、現在機構内の職種にない「リサーチエンジニア」について質問があり、技術職員と研究職の間を取り持てるような人材で、現時点では任期付きのイメージである旨、説明があった。URAについては、全学的な位置づけであれば基幹経費化も検討するという話を文科省から聞いている旨、財務部より補足があった。

大学研究力強化委員会での審議状況によっては、要求人員がどれくらい変わると思えば良いのか、との質問があり、増えることはあるが減ることはない旨、説明があった。

また、高輝度大型ハドロン衝突型加速器の追加貢献設備が具体的に決まっているのか、との質問があり、現在CERNと交渉中で、4年計画で全体を練っており、全体のうち令和5年度分の要求については、決まっている。次年度以降についても調整中である旨、財務部より説明があった。

以上